的に和

李家敦の

安慶西南方で

施育 思 者 微出 北京十三日 強國通 支那個 北京十三日 強國通 支那個 北京十三日 強國通 支那個

進撃は南海の島に、 近撃は南海の島に、 石月城線

一月瞬線のニ

この際関府非共産

がて剝かれ

殘敵を掃蕩

糖成を期する旨申合せをなし代表者は直ちに

日午後三時よ

時より市内各會の有力者二百名が市高額々歸還し自發的に治安維持會を結成

か軍當局を訪問指導を翻論した

(日 曜 水)



認は

してゐな

日四十

英古

相不院で言明

五五〇〇

表達したる兵器躍塞 人機能なもので、同所はなる土地にも拘らず 人機能なもので、同所は

で対してあたこと判明、特 連絡の製造には力器を入 が対してあたこと判明、特

四時四十五分 四日午前

[○○艦上にて十四日發國通]第○艦隊報道部午前十時州分發表= 南部〇〇海岸に商前上陸を取行〇〇方面に前進中なり北方より南進せる陸軍部隊に策騰し陸戦隊は十四日未明海南島 方面に向け東西に分進中なり天氣晴朗、暑氣未だ甚だしからず目下海軍陸戦隊は航空部隊及び艦艇協力の下に○○および○○

將兵一同元氣旺盛なり

正式の海関接ので、わが當

地方裁判所懸含に爆弾を投げーニ日午後一時半ランダーンーの日夢観通)

大佐、今田陸軍中佐が報酬に 氏に對し日本官憲による接枚 の旨を申護した、即ちわが方からは松平副領事、前田海軍

日の申渡しをなし 今番現金経暦等は日本官憲 今番現金経暦等は日本官憲 今番現金経暦等は日本官憲 今後消告するまで海嗣外で 教務すること 等を護康に禁止した これに對しスミス源副長は 不可抗力として承諾せざる

掃匪の戦果

高いであるが、八、九、十の三. 選すべく周邊各地の残敵を掃 を関いて、一般を増 の残敵を持 の残敵を持



十三日被回通

通商協定がローマに於て調印 ・受渉を進めてゐたが、イタ ・受渉を進めてゐたが、イタ ・受渉を進めてゐたが、イタ

| 「成立せる旨左の如く競表した
| ラドヴィア編製間に通商協定
| カーラ・ヴィア編製間に通商協定 通商協定成立 であったが轟然 変域めた手製 であったが轟然

マ上院が開催されてをり恐らく おきのと見られてゐるが事件の際は既に上院が散麿した後

清氏(間鳥工衆)同

後夫氏(營林署)商 総一氏(商楽)同 総一氏(商楽)同

本高山流一氏(変刺動)同 ・ 本語山流一氏(資融員)同 ・ 本井版之助氏(全融員)同 ・ 本井版之助氏(土建協會) ・ 国本寺の ・ 本内田鈴藤氏(同)同 ・ 大倉商事 ・ 内田鈴藤氏(同)同 ・ 大倉商事 日息三氏(海洲鑛山)園 川東二郎氏(會社員)同 川東二郎氏(6)同 川東二郎氏(6)同





うめる?

獨特自慢

0

自製靴

9

靴店

「作内現下の状況に続

の栽培を禁

中小商工金融

西安一帯のの兵器を鹵獲した

敵部隊に

その日 〈

頭痛

乘省實業株式會社



ど總ての消化酵素を含有してゐる 點にあります。從て胃腸虚弱に原 因する消化不良進んで茶養増進に



ナか作くし味道を料立スの 5.





廢止を申

不屆な吉林文光學校

ら同九時主での間に自宅前路市内東一條通二三原田榮之助市内東一條通二三原田榮之助

參拜

てるた北京生れ他不辟の女中田行雄氏は二ヶ月廟より備つ「日十二番地和

女中に化け

6

三三五 四四彩七一人三五七九四三二四 二八〇八二九八三七七三八五〇 四五十三五六四六七七四三九六 五四八五〇八六七七四三九六

三七、七〇五

ー四一 二三一四 七四八三六四八八二八 七三五八二六八二八 七三五八二六八二八 七三五八二六〇六 三〇九二九〇三八五一

○ 一一四 二三一 二二四四四一一三四二六三三 F O t 二〇九四一六一九九六七七三四六〇六七四二四方三七〇八一五二三五五五四六三二六〇五二九九五五四七八九〇六二三六一一四九四二三七七七一七四七五六一九九八三八二二

四三三三 二四 四 二二二四四一一一 一大大七九六 四九一九九七 九三〇四九〇八二 一四六〇九六三三一四〇一二八六五〇五六〇六五 九二一〇四九〇一二五六六二二〇三五〇

と陳情して來た、これに對し と突放した、同校はさきにも 神社不参拜では既定方針通り神社 使を驚致した、同校はさきにも 使を驚致した、同校はさきにも を変放した、同校はさきにも を変放した、同校はさきにも を変放した、同校はさきにも を変数した。同校はさきにも を変数した。同校はさきにも を変数した。同校はさきにも を変数した。同校はさきにも を変数してあり着では、の一般は を変数した。同校はさきにも を変数した。同校はさきにも を変数してあり。 を変数した。 の一般は を変数した。 の一般は を変数した。 の一般は では、 の一般に を変数した。 の一般に を変数した。 の一般に を変数した。 の一般に を変数した。 の一般に を変数した。 の一般に を変える。 を変える。

第加

回

(日曜水)

本首相以下に 本学社論イタリー公使並にガタニニー同書記官に對する をは4ッリーニ首相以下十六名に對する勘章は十五 をは4ッリーニ首相以下十六名に對する勘章は十五 をは4ッリーニ首相以下十六名に對する勘章は十五 をは4ッリーニ首相以下十六名に對する勘章は十五 をは4ッリーニ首相以下十六名に對する勘章は十五 を記録する為章は阮駐日大使を通じて近日中傳達される (富麗は傳達式)

を開催し子供 を開催し子供 を開催し子供

新京神社

73

9

(=)

の温床虱潰

長通路署管下一帶の

軍川路、

内五千戸、長通路署内東安屯派出所管内一千戸の雨部落を完全に包属し、文字通りの水も洩らさぬ検索陣を形成を完全に包属し、文字通りの水も洩らさぬ検索陣を形成では霧盗堤行犯五名、豚精殺一名、浮浪者一名、長通路署管内では豚密を完全に清掃の目的を達して凱歇を暴げて午前十の温床を完全に清掃の目的を達して凱歇を暴げて午前十の温床を完全に清掃の目的を達して凱歇を暴げて午前十一時候東を打ち切り長通路、寛城子兩署に於いて引致者

七

を密

賣する

1 一定され、取押へ方を中央通等 一定され、取押へ方を中央通等

文 濱主御屋を開き側に候 を供進使に白す を供進使に白す 大震士幣吊を奉りて拜禮、隨負列拜大供進使祝嗣を奏すて拜禮、隨負列拜大供進使祝嗣を奏りて拜禮大震主事を奉りて拜禮大震到身工事を奉りて拜禮大震列員工事を奉りて拜禮大震列員工事を奉りて拜禮 隨行員幣帛を仮案に移 齊主祝詞を奏す 祭員神饌を供す 學理 奏奏 樂樂

祭員幣帛神饌を撒す

個を始め、夫人の衣類等價格」の留守中にクローム側時計二

建國節行事に 童も總動員

各民族劇 近四一羅長連氏も十三日午後上に無旋錠のまい置いてあつ 音樂會開催

通装アパート居住宮 一一七)=假名=でモニ七)=假名=でモーロいては頑として で、保官を手古摺ら が、欄子の夫は某官

月後にひそむ謎

を連行





明は十四日午前十一時より 明は十四日午前十一時より の業務上横領並びに行 一)の業務上横領並びに行 旭爪春鄉八廿 經濟部瀆職事件第二回公判 言ひ渡された (宮殿 で東州二年) 松田は康徳 の末正の金と知って と教受、松田は康徳 は、村上り翌五年六月ま したもので、旭爪は (求刑二年) 松田は で求刑二年 次ヶ月)

地方銀行業者 行では蔣州國の新

せしむべく日本経済観察日本の産業経済の動向が に亘つて内地主要都市

青少年の孤獨生活に

島丸で赴任の途につく 島丸で赴任の途につく 島丸で赴任の途につく

浦鐡で、母の日、開催 補拓公社では十三日夜本 新拓公社では十三日夜本 特閣談會を催した あ

本も・三〇國民歌語「振へ日本國民」(東京)★八・〇〇 歌議曲(新京)細井男外本八・ 四〇青年の時間「現下の日本 10文字外 主なる放送 す(十五日)

名土の講演、浪曲

淋病肋膜 電話②四四八 **理事官東上**

松島大使館朝鮮和城島、大使館朝鮮課長に榮轉した松島派は十六日午前十一時四十二分新京書のぞみで着任の豫定である 時の誤りにつき訂正 一時とあつたは十五日午後二 長春寺の涅槃會の十四日午後二 涅槃會は十五日

は前夫の子供を生んでゐるじた。かものであるが、風呂敷 検膜で、この出所を追求する 上脊後にはモヒ密製造等蔵は 上脊後にはモヒ密製造等蔵は 上のではないかと、頑強に口をつ ではないかと、頑強に口をつ むく闌子を厳重収調で中であ る お浦薫剛先生を偲ぶ會は十三 日午後六時より奥平製粉聯合 育理事、村上中銀海外係主任 主催で中銀クラブに開催され 門下生二十数名参集種々回舊 を偲ぶ會

入浴中盗まれる 市内老松町一の一足達司郎氏 (二一)は十三日午後八時十分から同九時までの間に老松 町壽湯に入浴中、脱灰してあ つた協和服上衣一着とその服 を中と、十五圓在中二つの財 在中と、十五圓在中二つの財 を中と、十五圓在中二つの財 ジャズを 語るなら! ★黒と黄褐色の幻想 スキング音樂界 の元老エリント 操作盤を集めた 川氏解説書附 L to





市内目状の治

高州國の高正休日は十八日か がその間に於ける中央郵政局 及び市内各郵政局の事務取扱 は通常郵便は日曜祭日並に午 後三時まで為菩貯金其他現金 取扱の窓口事務は一切休業す ることになつた

舊正中の郵政局

右御照會の方は電話③二九三八番へ御願し内地瞬間の爲至急議し度9但し電話付食料品雑貨店

ます

二合永範比 種カバ 價にて完全に どんな破損品でも叮嚀目家作品に付大安賞! 柳行李其他旅行川 ンとトランク 四三〇八十

工作方針 台本年度の 成果は

に於いて結成式を影げ日 一名づつの指導員引率の で難をも企圖しその成果

施行される 【寫真は試験場】 施行される 【寫真は試験場】 一二月下旬人物考査を行つた上 三月初旬合格者競表の確定で甲種 要任官の登格考試を行つてる るがこの總受験者数は七日から 二月下旬人物考査を行つてる るがこの總受験者数は折名で 一二月下旬人物考査を行つた上 三月初旬合格者競表の確定で甲種 を任文官(乙、丙 ある、なほ委任文官(乙、丙 高等官 登龍門 適格考試始

0

4

十五

Ħ 局に因むお人形お道具類等豐富に い等

いましたどうぞ御來店を

を賜りて居ります…何卒御下命の程希地、出揃ひ獨自の裁斷加工に依る定評地、出揃ひ獨自の裁斷加工に依る定評 豫約 げ ます 八七五五 賣 出 L 0 CBA 特 别 奉 七六五四 ンク 仕値

二階洋服賣場

正義日本を讃

痛快無比

殺陣に次ぐ

感激

金

自

4

笠三德高佐

観光の祭アタスきなり

主信直太

演子江郎

期待されてゐる珠玉 別待されてゐる珠玉 別待されてゐる珠玉

唯十四日よりの番組は左 曹和中本で、曹栄嗣

単林の 反めるに 1

新興東京の新星 地のぼる 「興重8人娘」の天社で供然活況を呈してゐる新央東京では、尚も新スタアへンテイグの手を緩めず遊材愛見に努めてゐる新興東京では、尚も新スタアへンテイグの手を緩めず遊材愛見に努めてゐるが、その結果、又一人本年度遺出しの可能性を充分に別待しらる新人旭のぼるへと併行して、別傷に一本立で大々的に責出すこと、作力となる。東京神田生れの健に象とさと、御のぼる、東京神田生れの様に象とさと、変した。

D

ラクショ

一條めく星座」配役 年度第一回作品として映画化 年度第一回作品として映画化 を競表した加藤武雄原作「滌 めく星座」は、加木秋一、小 めく星座」は、加木秋一、小 のく星座」は、加木秋一、小 のく星座」は、加木秋一、小 のく星座」は、加木秋一、小

P

グラム決定

島高女音樂

朝の風景流員の御不澤等ひたかの風景流員の御不澤等ひたれば重いの観光が高いてというない。そのちゃん。たちゃんと廊ではまるでどったが、これ付事でまるで火ちゃんと廊ではまるでどったが、これは事の派狂病院イーマンだ

吉の失敗を深む るべく親密吉 を見るべし

版新

督監浩垣稻

歌の捷大軍皇

• 作快京東 • 山上再明 口山び朝 登 章場ッ ・ 館太新條南 • 子妙浦祭 • 子重八井雲 復邪破砕粉に塵傷薬つ木を動騒家おの藩津宮 版快痛ふ奮にンダンフを劒の正 銀座杯Z

の見必性女全 かきべす建雲を題間婚結び聞てしに何如は性女き若の下時職 演主義郎三妻東阪 體小香衣驅肺楠島尾前集加大大久阪嚴康志尾香湖市原河 澤蘇性笠井造 田上山山蘇倉園 東川川 上川川川 部 佐 松寺袞 富 多 米磯 三村 路小 解眞代碧之八三照蝶靜之弘一一 太勝之 華良三文健五 子弓子子助郎郎夫幸又輔郎郎公讓郎彥祗裔实介郎治作郞 ^{出特} 郎太國村澤 一パンメ華豪の川摩多全とピンコ快明の來以進前きなり限 續引に部一第の評好御 !マラドロメ大激怒員動總 !映上舉一·部二第·部一第內愈

高林坂 電前部一第リ忘稲 電後部二第オの 最も





路事順調なる進 諸事順調なる進

七輔び八起きの一

を決して断行

サデ短度 を起すに及 をは不利 のは不利



拾 **H**. 時也 念記



が達女彼にり振年三覺感の春新な快爽な醇豐!!る贈に樣皆がKS日スミ ……うせませま込捲に渦の奮昻を覺視の樣皆てえ湛っぱついを夢と惑魅

曾

その舟

の中から、かう低い、 情びた繋だつた。 がう低い、もう本意の

筑豊合同炭礦株推

ドクロ銭大會 温電源郎、油川春代

ございましたか!…

この名をおかの。 あれがお妹

階 荣 前 日 葵 娘 十七日より

十七日より

子は誰のもの

天狗

十四日より十七日まで、四十銭均一

1,17 4,24 7,84

清牧豫

水

豊永塲

更

劇長譚

あの夜の光景を思

知つてみるんだ

おの、質が様は……今、何 ・ かっ言った。 に、かっ言った。

遠にお住まひでござい

ますが何

會

忍術闘ケ原

0

それは

左の特

フィオン

お職様でございますっちに、お

も前さん遂に合うだ

1 74 M

育様カンマーナ があルカーニーナーラー

明さんに全ろで、館の方ちやないだらうがーーこの前、市 かないだらうがーーこの前、市 か

か次郎は、それで、萬事が のみこめたこいふ表情で、う なづいた。 『お古さん……お前さんも。

經

膏電報

(四)

書

をでかまりに、母を掛けた お宮は、思ひがけないと 本下大雅書 三村伸太郎作

海ブ領域の思い

大郎の話を聞いて、ひごく薄 いたやうな支信が多べた。 そして、昨夜の一代を話し 申すのださ神行つて、お出掛 商况欄語

掛かるさは、不思議なご激でお月に

時別、情緒を得ち合してある 時別、情緒を得ち合してある。 「おめえの方が、よつぼご郷 「おめえの方が、よつぼご郷 の気性が余身にふつり

四月限 13100 銀座 電ミハ 喧豫告 大谷日相夫雲井 大谷日相夫雲井 大山草人山

座

各地株式市况

的 十四日より三日間

12,0 3,17 6,55

12,20 0,57 7,26

2,25 5,50 9,15

朝

而都キネマ 回〇田 $\frac{1}{2}$ 1049 4057 8005 下方 2-40 5-48 8-56 十四 12.00 3.05 6.16

13, 0 3, 34 6, 40 1,46 5, (8,20 2, 10 5, 3 8, 50 四十錢解放

12,21

2,30

3,45

7,09

映画御衆内 楽馴場

支

四兴五

IK.

> 類種の子脳値ンオイラ 他に義歯用あり 一二、日漢何 - 事 書 向

柄が骨製で、曲つたり、 隅々まで清掃出來る事。 機つたりしない事。

3

(11)

承もちする事。

毛の植ゑ方が歯列に合致 毛の質が断然純良で してゐるから、齒と齦の 長があるからです。 刷子には MAN TERESTALLAN Total River

幽 機刷子 から

齒

ます

怖もりよ歯シム は防豫の

対象が、生物・キャペラ、大物が、生物・生物・キャペラ、大物が、生物・キャペラ、大他新のでは、其他新のでは、其他新のでは、其他新のでは、大きない。 で、且遊皮の硬さを で、且遊皮の硬さを 特のライオン動脈子 で戦の血行をよぐす も為に、適常なマッ びカルシウム、湖を 心事 観を小様枝郷で無け 帯様対の張い 前石を作られやうい ライオン書館でより 多量に含む食物でよ 増んで強べる事。

屋古名。阪 大。京 東

地區 THE STATE OF

【頁二十刊夕朝紙本】



邱縣々城を占領

殊動の西大條部隊

五時邱縣々城を占領した、引五時邱縣々城を占領した、引

公路通過活潑

米内海相記電 東京國通)米内海相記電 がに南支海軍部隊最高指揮官 がに南支海軍部隊最高指揮官 宛左の視電を設した冒海軍省 より公表された 三亜港附近の奇襲上陸に成 功し帝國海軍の威容を前海 かし帝國海軍の威容を前海 とゝもに の地に勇敬する とゝもに の地に勇敬する とゝもに の地に勇敬する とゝもに の地に勇敬する とゝもに の地に勇敬する とゝもに の地に勇敬する

海南島攻略を横上より観察舞選した安藤祠

だ臨んで重題また豊富である

第

己資金及借

英の兩海運會社
海口寄港を停止
和、太古兩洋行は海頂島失陷
に伴ひ南支航路の海口寄港を
停止すること」なつた、爾洋
行は廣東失路以來上海、香港
海口、北海、源防航路の夏要
性に鑑み多数船舶を配してゐ
るが海防向源航は從來通り幾 せて一層日の

徹底的掃蕩續 各部隊各地に快速進撃 あり、同縁は同所で手榴弾五一葉、衛生材料多數を鹵獲した地には敵の手榴弾製造工場が一千、地雷十二、その他迫撃砲火

海南島南端三亞街占領

し同六時四十五分には早くもその一部は三亜街を占領、感激の軍艦旗を飜は海南島最南端楡林西方三亜港附近に奇襲上陸を敢行、直ちに進撃を開始(海南島三亜街十四日發國通)十四日午前五時四十分海南島派遣太田泰部隊

英大使も外相訪問

扇を憤懣せしめつゝある折柄 勝軍の不法行為頻設に日満當

哨狙撃を受

义もソ聯の不

狙撃を受け、次で十三日午前 周においてわが歩哨がり聯兵の 事

程に入り對ッ決職案を受 、政府提出二法律案を委 記、次で

後五時州八分散曽

貴族院豫算總會

を受けるべき筋合のものでな ず、米國政府審局は依然にれ の態度がどう動くかは往目を に載日を經過してゐるに拘ら 英、佛の策動により今後米園 標である に数日を經過してゐるに拘ら 英、佛の策動により今後米園 標である に数日を經過してゐるに拘ら 英、佛の策動により今後米園 標である に数日を經過してゐるに拘ら 英、佛の策動により今後米園 標である

海南島占領は南支沿岸封鎖 海内島占領は南支沿岸封鎖 なくまた領土的野心から出 たるもので軍

權益確保決議案

西部國境吉拉林で

散キ機

雲度國 東門航空通路開始につき左 とルマ事務大官はビルマ= を開発を通じての英國の對 とルマ事務大官はビルマ= を開発を通じての英國の對 雲南航空路

設準備中と英下 の如く 院で 言明

知く言明した 要確な準値施設か行はれ でいるを連絡開始の でいるを連絡開始の でいるを連絡開始の でいるを連絡開始の でいるを連絡開始の でいるを連絡開始の でいるを連絡開始の でいるを連絡開始の でいるを連絡開始の でいるを がいる。 でいるを がいる。 でいる。 全導第引 ・大倉組及び人倉織祭より 一七、三〇一 一七、三〇一

職が奇襲上陸に成功した海南 島三亜港は最軽城の東方百十 里にあり。西は保平港を距た る百里、東は楡林港と山を距 て値かに六里で三亜、大被、臨 西は長さ三百丈。南北は版さ 一た、港外には暗礁多く港内は が、港外には暗礁多く港内は

香爐碗子金山第一期事業費 香爐碗子金山第一期事業費 香爐碗子金山第一期事業費 香爐碗子金山第一型、 本溪湖煤織增資排込金 一八、八〇八 一八、八〇八 一八、八〇八 一八、八〇八 一八、八〇八 一八、八〇八 一八、八〇八 一一八、〇〇〇 一一八、〇〇〇 一一八、〇〇〇 一一八、〇〇〇 一一八、〇〇〇 一一八、〇〇〇 一一八、〇〇〇 一一一、〇〇〇 一一、〇〇〇〇 一一、〇〇〇〇

亚麗莊

大都ホテルへ 大都ホテルへ 本清水一氏(官吏)同 本大平を氏(同)同 本を本直三郎氏(同)同 本で田恵二氏(編昌公司)同 本作田島氏(大倉土木)同 本作版勝氏(與級)同

000 000 000 器輸送

その創立を見た、新會社は資 に開する登記を了してこゝに に関する登記を了してこゝに 本金五千萬圖の講洲國音通法 人で講洲國内における重要電 院に投資することをもつて目 際に投資することをもつて目 のとするものであるが、差當 のでは從來大倉が議洲國内に はなべて行つて來た事築即ち本 を記って行って來た事業即ち本 を記って行って來た事業即ち本

清鐵百円を委嘱す(九日付)

事

補東京整訴院長 特級事總長 大審院部長 判事 霜山 大海 東京 変院 長 本村 木村 昨日設立 をア

▲平井出貞三氏(龍交通部次長)十四日諸京ヤマトホテルへ ・野口伊與字氏(電社員)同 ・野口伊與字氏(電本社員)同 大都ホテルへ 一国以後の排込金 一二、C 一二、C 一二、C 往來 お仙でおか 土を兵隊 チ金 夏浦野 デン語 八物子 イン樓の一人物子 海南 事.粉.胡。 盤の 本理時常非ソタモ っ至に競科は女美たったに特権の叛政交外の機能。在権 00000

軍令部總長宮殿下 (東京園通) 大木管海軍報道 (東京園通) 大木管海軍部監長 (東京園通) 大木管海軍部監長 (東京園通) 大木管海軍部監長 (東京園道) 大木管海軍報道 (東京園道) 大木管海軍報道 (東京園道) 大木管海軍報道 (東京園道) 大木管海軍報道 (東京園道) 大木管海軍報道 (東京園道) 大大管海軍報道 (東京園市) 大大管海軍報道 (東京園市) 大大管海軍報道 (東京園市) 大大管海軍和市 (東京園市) 大大管海軍 (東京国市) 大大管海 (東京市) 大大

音を説明、帝國の行動の公正 な私英傳政府が同側題に對し 今後共同步調をもつて臨むと しても帝國としては帝國の公 正なる行動について何等干沙

「東京國班」十四日の総地なき活況である、午後 をするととするの機能を発展に関する決議案上程 ののため 一時十分開會、直ちに日報、一般と繁張、傍聴所含、直ちに日報、一個人とすると、一般と繁張、傍聴所含、直ちに日程となった。 一時十分開會、直ちに日程となった。 一時十分開意、直ちに日程となった。 一時十分開意、直ちに日程とない。 一時十分開意、直ちに日程となる。 一時十分開意、直ちに日程となる。 一時十分開意、直ちに日程となる。 一時十分開意、直ちに日程となる。 一時十分開意、直ちに日程となる。 一時十分開意、直ちに日程となる。 一時十分開意、 一時十分による。 一句は、 一句は、 一句は、 一句は、 一句は、 一句は、 一句は 一句は

内農相の原田浦安を御の際日浦安を通の際日浦安を通り

北京の交換速
北京の交換速
北京の交換を提出を引きることでは、「交換手は時を生む母なり」をモットーに
なるに受けて「交換手は時を生む母なり」をモットーに
なるのが娘ばかりを採用四ヶ月間交換技術並に日本語を
して女子中等學校を出た四

3

0

社

說

方面の速寒を緊密ならしめようと先づ努めてゐることが窺知される。更に外交部長王龍翔される。更に外交部長王龍瀬撃してゐるといふ形にもなってゐるのである。この點、さきに一般に、中數は共産黨勢力たわけである。このため、現されてゐたところを裏切ったわけである。このため、現 はたいり十三日發展通過スペイ マスの消息によれば右動員は 十萬の大軍を整備するといは に異常な観心を示してゐる複 後備兵を横々召集、三月六日 論に拍車をかける形勢にあるに異常な観心を示してゐる複 後備兵を横々召集、三月六日 論に拍車をかける形勢にあるに異常な観心を示してゐる複 後備兵を横々召集、三月六日 論に拍車をかける形勢にあるに異常な観心を示してゐる複 後備兵を横々召集、三月六日 論に拍車をかける形勢にあるに異常な観心を示してゐる複 後備兵を横々召集、三月六日 論に拍車をかける形勢にあるに異常な観心を示してゐる複 後備兵を横々召集、三月六日 論に拍車をかける形勢にあるに異常な観心を示してゐる複

會議招集せず ル國務長官の返書

と でこれを拒絶した旨十三日國 に でこれを拒絶したが、ハル國務長官 は これに對して返書を致し現 在のところ未だ軍縮會議招集 の機が熱してるないとの理由

一 濡米中の上海のユダヤ人財 関互頭サー・サイタダー・サ ッスン氏は十三日朝上海にに ヴアンターヴァからエムプレ 上海に直行する筈であるが、 上海に直行する筈であるが、 上海に直行する筈であるが、 上海に直行する筈であるが、

を加へるものと見られてゐるならばその役割は一層重要性若し西貫に移動することよも

目下對支武器輸送はビルマ したがこの方面に兵力を集中す るに決したのは當然である るに決したのは當然である るに決したのは當然である に大部隊を集中するものである がこの方面に兵力を集中するものである がはこれを裏書するものである がはこれを裏書するものである がはこれを裏書するものである がはこれを裏書するものである がはこれを裏書するものである がはこれを裏書するものである がはこれを裏書するものである。 がはこれを裏書するものである。 がはこれを裏書するものである。 がはこれを裏書するものである。 がはこれを裏書するものである。

【東京関海】厚生省保健院では大正十五年創始された郵便年金事業制度の敷用を大ならしめ銃後國民生活の安定を圖り併せて現在の勤儉貯蓄の國り情せて現在の勤儉貯蓄の國

學大洋和

復 筒

各 数帖 · 簿種本孝梅

學

其他紙製品一

習

る必要が存すると思はれる。しかし果してさうなのであらしかし果してさうなのであらは行はれてゐるやうである。

今度の支那行で何をするか と云ふ事は今間かれても困 るが、戦後の復興が一日で るが、戦後の復興が一日で 現代して日本に經済制裁を 担保して日本に經済制裁を 関が一日で と云ふ事は今間かれても困 が、戦後の復興が一日で

務省より競表された へ頭

西貢に交通銀行

開設準備を進む

勞働統制に着手 新民會勞工協會

の如き具體策を得たので近く 電施することゝなつた 一、日支官民合作による棉業 政進會の設置

郵便年金改正

といなり目下側査員を派遣閉めるためと称してゐるが、華 偽の設金熱冷却に對する蔣政 所側の對策であること明白で 又海南島占領により不安を豫 に交通銀行支店を開設するこ は中央と相鍾いで佛印に機闘 銀行を設置したが、更に西質 はでから、ないでのでので、ないでのででである。 に中央と相鍾いで佛印に機闘

波蘭機關紙社

【ワルソー十三日設図通】ボーランド政府機関クリエル・ボラーンド紙は十三日の紙上に社説を掲げ日本の海南島占に社説を掲げ日本の海南島占に社説を掲げられる海南島山で

貴族院本會議

身年金を創設するとよるに置の改正法律案は保證期間附終

紙質優良 製本堅

大衆向廉價

便箋

七日まで審議續行 長會議

理局

では、 で審議を行ふが、康徳六年 の進捗に伴ふ諸問題に就き相 で審議を行ふが、康徳六年 の進捗に伴ふ諸問題に就き相 のと見られる

感謝と就質の電報を に設をもつて出光最 に関係方面 に関係方面

十一件を審議の後頗務大臣の 地の改正法律二件ならびに請願 十一件を審議の後頗務大臣の

本・法は生産費が富み理化 を であるが破力による活性炭素を使用する であるが破力による であるが成力による であるが成力による であるが成れたい、 政府

外務幹令(十四日付) 企畫院書記官 大野 勝己 任大使館三等書記官 大使館三等書記官 大使館三等書記官

東亜局第一課動務を命ず任外務事務官

電信電話サー

試務として嬰睛しつ▲ある ■ はずるに至ったのである、而 ー・

+

七

百

七

滿洲移民の分村計畫と農村更生

なくせしめ、数数十年來農梁 力は極度の小農の存在を餘儀 力は極度の小農の存在を餘儀

九

年本百萬の人口を増加しつよある我園に於て、其の人口を増加したられ、長い間の解決こそは正に重大なられ、長い間の解決こそは正に重大なられ、長い間の政治的要のをしたとは云へ信鎖國的状態の中に於て関せられ、而も信我の政治的勢力の微弱であった時代に於ては、南米、南洋でに発したとは云へ信鎖國的状態の中に於て関せられ、而も信我の政治的勢力の微弱であった時代に於ては、南米、南洋

00

學士院恩賜賞

一、石門心學史研究 東京女子高等師範學校 東京女子高等師範學校 有川 教授 石川 で配副交感神經に翻す

軍部を刺戟す 返還要求

西班牙避難民の

行轅業務を開始軍事委員長成都

でイタリー義勇の政治的處理が

心的説明を求めたものに

、松川郷示を行い、規定による

求め、

歸還を許可

-フランコ政府公表 -

の内容

イフの領土合併による新情勢日調印された獨伊新協定はド

新協定

らしい口振りを残したとか 宝心新聞記事は全然嘘だ、 事態を悪化するために支那 を建設的な気持である、上 に行く管はなく自分はもつ になるかは行つた上でない と判らない

チ外相と 會議 にローマ十三日愛園通」駐伊バース英大使は十三日辛ジ宮にチアノ外相を訪問、スペイン問題につき協議を遂げた、の問題につき協議を遂げた、

一、ドイッかが新たに合併した を種工、主要を をを開致により新たに合併した を種工、主要を のを同類程度に調整する のを同類程度に調整する のを同類程度に調整する のを同類程度に調整する のを同類程度に調整する のを同類程度に調整する のを同類程度に調整する が協定により新たに規 のを同類程度に調整する のを同類程度に調整する のを同類程度に調整する のを同類程度に調整する のを同類程度に調整する のを同類となつてるたも のを同類となってるとの通過 がい、解、果物 でイタリーからドイッ

マインにおける人民戦線軍の 、インにおける人民戦線軍の 、インにおける人民戦線軍の では、フランス側においても では、フランス側においても を越えてフランス領に逃 では、フランス側においても あるがフランコ政府は十三日 を選難民に對しスペイン領内 に勝還することを許す旨次の 如く公表 に脚潭す

政府黨大勝利

改良家はる

維新政府の棉花

議合總選問

は合總選擧

剛委員會を設置、增食計畫を 情質業部ではかねて改良棉動

「ブラーダ十三日受閥通」テエコ・スロヴアキアのルテニア地方議會徳選擧は十二日一果政府黨は有權者種数の九二四パーセントといふ監倒的大勝利を獲得した

ピルマ方面の鉄道による輸送に対して微度的に爆撃を 製しては爆撃による輸送に 野しては爆撃による輸送に 無言のうちにこれを脅かす に充分である

新京富士町二丁目

巡邦ケ所

込所

新京中央通

滿菊藤蒙

中 国中 経 愛 掃 (無 所 屬) ローマ 字 綴 方 統 一 を 要 梁、 十 一 時 五 團日出費數發

電によれば、軍事委員長成都 行轅は東地に追請められた蔣 行轅は東地に追請められた蔣 政権が四川中央化のために新

百二三 月十八日 鴨綠丸 CR

圓間日

伊勢參拜團 熱海溫泉、名古屋、新潟、鳴 ル組組 電話 東京 原語 大神音

大海沙、門司、大海沙、門司 が出來ますが出來ます、國威宣攝教團體、溫景巡園等の永い體驗によれ歌團體、溫景巡園等の永い體驗によれ歌團體、溫景巡園等の永い體驗によれ

武運長人新願労々懐か祖差人御婦人方には必御老人御婦人方には必 第三十一回

株主總會の席上に於る

富田興銀總裁演說

(3)

してをり、内地、朝鮮廿萬石 シャム、西賞、南支方面より廿 萬石、朝鮮よりの分としては 萬石、朝鮮よりの分としては 地蔵石中その六、七割を仰が んとしてゐる現狀に鑑み、今 国の如き朝鮮總督府の制限問 現は頗る遺憾なりとし農林省 酸は總督所に人を派し、制設 表示足分の手當を外米に による不足分の手當を外米に による不足分の手當を外米に

(日曜水)

鮮内米價調節に

對滿支輸出制限

滿洲國側對策を考究

米をリザープしつ」あった。 ものであるが、更に之が完 のと見られる のとして今後の對策に のいては頗る注目されるもの

章率下と共に閉館されること時候しく综く仰ぎ来つた細紋側事館は歳々廿七日午後十一個事館は歳々廿七日午後十一

東安軍戦歿勇士 大慰 靈祭執行 大慰 靈祭執行 関軍部隊の作戦域は討匪行に 関軍部隊の作戦域は討匪行に 関軍部隊の作戦域は対匪行に

鐵道用材の自給に

滿鐵、

經費州二萬圓を計

上

大造林計畫

上日年前に 佐々木 満 佐々木 満 上日午前十一時間 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 上 出 東 上 上 上 た が、出 歌 東 上 出 歌 海 英 東 上 温 歌 東 上 温 歌 東 上

滞鐵調査機關の擴充 入綱案決定す 愈よ新年度より實施

来関あり、日本に於てかいる制限を を変したことについては種々 を変した。 をで

總局自動車 織道總局所管全瀬自動車島標 賃大中引下げ 賃大中引下げ 大中引下げ

收入旅客共に激増

躍進の總局自動車線

四千年

に達す

人好と青年科學者の北恋!戦魔に戴る名花い

て我が國に生れた幸

を敷く主婦よ、その

に百七十八瓦、馬鈴薯一一人分の食量は食パンがは全部切符制度としまし

睪

丸炎は不妊

の原因か

旭

かり良くなつたと思つてをりますが、墨丸奏をわずらひますと子供が出来なくなると以前から聞いてをりますが、本當にもら子供が出来ないものでせらか、又如何に治療致し

藤 天香 天香

横武大衛

見てるぢやないかネー してるぢやないかネー

北橋本佐內作

病氣の處止むを得ない事情で | 気分も懸くないと申してすつ | が、まだ二度も姙 治療につとめ順調に治りました。極力 | 私は昭和十一年の | 過関な運動を致しました。極力

ましたらよいでせらか、私は 幸に感染致してはをりません (阿子) いますが、質問の りますが、質問の

連載漫禹

オープシボムロチャー

長崎拔天

(国)

海

短

生活難を歎

ウインザー 「カンヌ 性紀の戀人シンブソン夫人は 世紀の戀人シンブソン夫人は けんして取つてゐるが、此ウインザー公の愛妻と して取つてゐるが、此ウイン ザー公夫人に對してどんなお 節儀をしたら適當かといふ問 に しく論議されてゐたが、最近 しく論議されてゐたが、最近

舞台上の銃「ロン

米副場樂屋の貼紙に のお布令を發するに があるを發するに

、送地に到つたらし と芝居の區別も判 の場合に対しているが、最

〇 海軍と 〇海軍航海

薬

朝三

小に、大のチェルの高別を開展を開展を開展を表現を表現を表現を表現という。

粉氣の原因となる故と惹き起し現實に苦

17

獨逸の大戰時に於る

物資統制振りを見よ

有されてあることが優見され 有されてあることが優見され らに警告が發せられましたの で、切り落した毛や、抜け毛 は全部銀めて赤十字社に屆け は全部銀めて赤十字社に屆け

も多かつたと言ふ様に、實に その統制はひとすぢの毛に至 るまで残らず及んでめたので す、化粧品が増伐で一割や二 す、化粧品が増伐で一割や二

で、傳染病で死ぬものも非常 も行かなかつたのですで、傳染病で死ぬものも非常 も行かなかつたのですで、傳染病で死ぬものも非常 も行かなかつたのですに多かつたものです △鐵の統制 事時はス・フもなり封鎖によって表

の番組「新京放送局」

調經

九、〇五(東京)經濟市況
九、〇〇(宋連)朝の音樂

三、〇〇 (大・新) 經濟市況 つ、三〇 (東・新) 三ュースー、 億さび 一、 億さび

演藝新人

(一) 晩秋の霜降ふる山里の静寂(一) 晩秋の霜降ふる山里の静寂(一)を渡る夜の風、谷門とを渡る夜の風、谷門とを渡るでの点、谷門との神なる(三) 月光鬱かなる(三) 月光鬱かなる(三) 月光鬱かなる(三) 月光鬱かなる(三) 月光鬱かなる(三) 月光鬱かなる(三) 月光鬱かなる(三) 月光鬱かなる(三) 月光鬱かなる(三) 月光鬱かなる(三)

十三年度當選者初演

0

(東京) 講演

割値上りするなど

三組二〇

大田 一 一 で 五 で ス・告知事項・今晩の 東京)ニュース

五五四 領三 三二四条 第000 三二四条 第000 三二四条 第000 三二四条 第000 三 (京) 経済市況 ・新) 経済市況 ・新) 経済市況 ・新) 経済市況 ・ 1ス (幹語)) 演藝「辞語」) 演藝「辞語」

京無線

(イ) 獄中作 (イ) 獄中作

一、詩吟 一、詩吟 昭和十三年度演感放 密本三香作 (4)類烈士殉難圖 宮本三香作 (co): 泊天草洋

(ロ) 正氣歌 廣瀬武夫作 (イ) 金州城 監新人系集 當選者 田崎 隆 乃木希典作 杉山長谷夫曲 トナナニス 曲ド子い

るだろ

書の は、 本の は、 まの は の演藝術京都山流春風が大橋鴻山作人橋鴻山作 れいな朝になりまった。 答ちて

近代母性育兒讀本 (四)

三歳から六歳の幼兒期

幼兒の發育 (三歳) 六、第二日雄が生へる 4…精神及び身體 一、入浴、更衣、食事、手洗 4…保育標準 0

號

+

七

百

七

Ħ.

母人人の五ミリ、女人七○二 ・ 一一・ 一六キの、身長 女一二・ 一六キの、身長

四、この時期の玩具は筋肉を木、濃像遊び等がよい

一、友達と一緒になって遊戯 を知りたがつているかつくやらになる 習慣をつけること

まく便所に行け

四、膨脹時間は十時間位になやうになる などをさせるこ、 あまり憶が ちる水摩擦、 ちし歯に踵 生の損 布摩擦の習 デオ體操ン

が生へる

身の廻りの始末が自分で 左右の區別が出來る 同情心が現はれる 動作が満足に出

では、六字日報は一生使ふ戯で ・ 本がら注意が肝要です。 ・ 子供の應急手書は家庭で ・ 出來るやう心掛けること 三、友達と遊ばすやら心掛け

男五二・九ミリントの、身長 男一〇

女一〇四



情報が手につかぬ

時へ今かへ前江

夢とみし

んは静吟で當選され 船 やよい が出 やよい

んは詩吟で當選さ

きだ山長谷夫世

レナード

杉山八重子

博多人形 南弓尺八玲率による管絃三重 あ弓尺八玲率による管絃三重 変の作曲、洋樂の三つの樂器 で合奏する演奏形式の持つ興 味と魅力を、日本樂器の少數 なる合奏で現すべき意圖にて なる合奏で現すべき意圖にて なる合奏として演奏を試 みの三部合奏として演奏を試 みの三部合奏として演奏を試

日中わかり ・ 本部の独居では ・ 本部の独居では ・ 本語の独居では ・ 本語の独居では ・ 本語の ・

治キング 宇野哲人 中野哲人

角田 喜久雄 川口 公太郎 川英治 華武姓

の話

の市頭兵 さらば 三木 喬太郎

中田 北溟夫

2 吉野夫二郎

●無駄を省いた實例松本即勢之丞

映画監督・打明・話)

本理林会園の死妻人の説の演習

博多人形

山流春風社

氏恒正 倉小 精中一幸障理 る事が宥されない、從者の蒙 古人は叫ぶ。しかし、今日の 僕には血を見ないことには— 一ああ、僕は儼人ではないの

一僕の無持を知つてゐる犬をなだめて今日は小屋に歸らう。 其の夜……。犬は淺い眠り

は一一そして全く死女の面の一でうに著継めた白と灰に輝くこの寂しさに馴れてるる。あい。 歌でもいょ!僕の身に離つてこい!月は今やりやく落ちかけた……赤く、児は

――僕は靜かに移つてゆく

腰爐の口元から火がぼつか

一九三九・一・八-明日は磯に出よう。

誰の舞楽装置でも變化の乏しのですが、屋簾の場になると

大き込んで騒々と煙立たせっくの後の毛の帽子を通しずウェウと絶えまない怒號がりまない怒號がある。小屋の煙突から風

一、北村線文郎「天守」
「或る環境」と問題されてゐる。 支那人の阿片を練るたいなものが置かれ、その中に何があるのだらうと少年な変し、近頃では一つの流行になってある。 たしかがれてある。 かりしたがつて類型が多いと、かってあらら。 足族の問題とか、人間或長の問題とか、人間或長の問題とか、人間或長の問題とか、人間或長の問題とか、人間或長の問題とか、人間或長の問題とか、人間或長の問題とか、人間或長の問題とか、人間或長の問題とか、人間或長の問題とか、人間或長の問題とか、人間或長のにある。 おしたのである。 はほどのない物語といるである。 はほどのない物語といのである。 はほどのない物語といのである。 はほどのない物語といのである。 はほどのない物語といのである。 はほどのない物語といのである。 はないのである。 ともになる。 ともになる。 ともになる。 とも思はれた。 かりしたの様、 かなくてはアラスは生れないのである。 とも思いないのである。 とも思いないのである。 とも思いないのである。 ともとのない物語といる。 ともになる。 ともになる。 ともになる。 ともになる。 ともになる。 ともにないのである。 ともになる。 ともにないのである。 ともにないのである。 ともにないのである。 ともにないのである。 ともにないのである。 ともにないのである。 ともにないのである。 ともにないのである。 ともにない。 ともにない、 ともにないい、 ともにない、 ともにないいいいい、 ともにないい、 ともにない、 ともにないいいい、 ともにないいいいいいい

知何に君とは仲が悪くても… ねが死んだと聞いた時は悲し

悲しく捧げる詩、私の詩無き君の面影を嫌びつゝ

先にお風呂に入つて きら棒に言つて速

張りの明

後は案外則かな際で 「ね千代子!」まだ慍つて るのかい? 僕の悪い所は改 めるから言つておくれ、ね」 「……悪い所つて無いわ」 普接の彼女ならその儘閉捨 てる筈だが、先刻から妙に しき苦しい壓迫に悶えてゐた千 れ子は、皮肉な微笑を浮べな

と、らはつ」た酸で言つた ちは茫然として、今迄かつて チは茫然として、今迄かつて ち上つた。と、突然宮崎は、「あのね、勢れてるだららが、今夜お前の…が欲しい

や、無理にとは言はな

製作過程

ものじやないの、やりきれな男らしく振舞つたらどう!

りなづき狡猾そうな眼付

りと立上ると廊下の方に歩 いて彼の顔を眺めてゐたが いて彼の顔を眺めてゐたが

あらかじめストック内の品物 を熟知して、出來る限り有物 (既に出來てゐると云ふ芝居語)の利用に心掛けます。上述の如き考へなしで設計すると一寸二寸とわづかの差の類似品を漂山作ることになり不 經濟のいたりです。舞台に於ては六尺の扉も六尺二寸の扉もつです。日本では新劇を除 があります。

作つてゐます。そし 四寸、中足二尺一寸、一二軍の寸法なり(常 尺八寸)屋台のす 寸、高足二尺(常足一尺 ら布をは、

をいふ、しかし本人は俺といふ、しかし本人は俺にれで大尉の服を着てはこれで大尉の服を着ていた。 ところがこの大威張りへところがこの大威張りへところがこの大成張りへところがこの大大威張りへところがこの大人は俺だわごしておさまつてゐると馴なの女給はじめそれと鼠ががずそゝあつて「あられだわご」てな具合でせら、れ、藤川さんだわご」てな具合でした。

侯が剝す。山

は、何敌か僕の眼を撃たうとしてゐる。

り明るい。嵐がその白い姿で 脅しながら興安樹の森林の上 脅しながら興安樹の森林の上 を渡つてゆくたびに、蠟燭の り、小屋の中を充して頭痛を り、小屋の中を充して頭痛を 発えさせる。時々、屋根等が 落下する音に犬は怪しげに馳 大る。

てゐる。

幽かな僕の限に見え

遠藤 美

藤川研一、 原造道から 東遠道から

『ふん!何は泣く事なんか 思ひきつて自分の心を蹂躙 つて了ひ度くなる気持に、心 地良い落付きを終じて右の目 を閉じたり、口を力一杯別い たり、舌を出したりして、無 舞台装置

らに思へてくるのだ イ、鏡に呼びかけた。(完) 甘酢つばい感傷で繰り返し の名の出るのを訝りもせず、 のもの出るのを訝りもせず、

切るそれば經過が高くな

全然新しく設計する場合に がたも使用する材料の大きさ 対法を熟知することにより材 村本をつがないで出来ますが 三間になるとつがなければな りません(三間物の材本もあ りますが、非常に値が高くな

の無

来るやうにします。使ふやうにします。 もあります。例へばドンゴス等です。 で作りますが、三原色、青 で作りますが、三原色、青 で作りますが、三原色、青 で作ることもあ 新京中央通 科醫院 「何回もの公演に から、枠のま 単純に事を運ご十年 ・幸運三十年 ・幸運三十年 ・大阪の名話美談 女女物 軍楽生活の思る出 告坊っちやん 火の匂ふ唇 勇士と 大いなる 春の 戀の寝 銀色。舞蹈 日の日 篇 語







御家庭に 御贈答用に



消化不良(張詩)青便(蘇斯)吐乳(既) 熱(原因の利) カン虫氣

ノ康健ぬが揺





圖

和の常舗 慰問袋には、勿か も論の

仁丹を同封

-



にすることで、 分にすることで、 分にすることで、 サクミン、ホルモン、サフラン が鮮人夢の強疑養を含有する の様人をの強疑しは、先づ条養 の家庭常備薬です の職防には、先づ築養を充の職防には、先づ築養を充の職員は悪性です

本、常に必携して を、常に必携して を養き課種を計り を養き課種を計り を養き課種を計り を養き課種を計り でする。 にある三云ふ、 心構を確示する に於ける最肝要 に於ける最肝要



呈進附添に銭十五丹仁粒銀

*体育容器

仁丹の

では、國民の一人一人に、最大政府は、國民の一人一人に、最大政府は、國民の一人一人に、最大政策にる



呈進附添に銭十五丹仁粒銀

(t)

皇軍佈告を讃む海南島良民

会しい権人形が飾られ、道ゆ 学くも五段並び、七段並びの 学しい権人形が飾られ、道ゆ 学とも一般が一般を使って来のさい

人形には時間初勢ましい使り 型が出來でも、恐の縁の變ら 以操を誇る大和攤子愛用の攤 人形はいつになつでも雙らぬ 大理機にお躯線、たちし値段 だけは動價騰貴時代の足並み

桃の節句の

審問を探知した首響保安科では、二等品工作の場所に一島ける、2000年間に中、豚肉の需用は一段と増加しつよある折析、儲けはこの機とばかり市間は一段と増加しつよある折りの販賣値は警察の認可値段以外の値で賣るも何等おとがめまないと言ひふらし、警察の認可値段以外の値で賣力、場合とはないと言ひふらし、警察の認可値段以上に受品五十銭、三等品四十銭を一律に一等品位十銭、三等品四十銭を一律に一等品位十銭、三等品四十銭を一律に一等品位十分である。

貝統制懇談會

けふ關係者集合開催

銀嶺に二條のシュプールを描いて獲き上る雪煙の中に快か を呼ぶ、寒間ならでは味はへ を呼ぶ、寒間ならでは味はへ キーの醍醐味を関都人士に進 中ローでは來る十九日京吉線 土們嶺スキー祭参加團體を墓 生

軍事援護會から 戸籍未了転歿 遺族に給付金 遺族に給付金 別別園町人稷 一つ おりながら戸籍上の妻子を付金 ありながら戸籍上の

をられ、研究されては来たも のよ今日まで何等具體化セデ 解決の曙光を見出すことが出 来なかつたが、現下の家質は きらに高騰の情勢を示してゐ のに鑑み、關係當局に於て なり、經濟部商事科が主催と なり、經濟部商事科が主催と

京縁後、現地で

民族協和 満洲國人の習性は斯くなり

致化團體 再出發

民衆ピ共に前進

對政府連絡代表者懇談會終る

の如きも民族協和の火局的見地からみた傷合非常な悪影響を及ぼす結果となるので協和 管中央本部では特にこれ等外 来旅行者に對も満洲國人の禮 條作法、生活の様式等簡単な 上記の如き悪影響の防止に飛

相當する軍屬、職務するもれ電子の要綱左の如し 護近く實施すること」なつた

おとなさすること
かしたるものに對しては支配めたるものに對しては支配めたるものに對しては支配がたるものに對しては支配がたるものに對しては支配がたるものに對しては支配があること

科長、下事務官、治安と明して十四日午前を別して十四日午前を別して十四日午前を別して十四日午前に民政部張社會司がらは民政部張社會司がらは民政部張社會司がある。

※中であつたが、成案を得た といなり、恩給扶助料に準コート といなり、恩給扶助料に準コート といなり、恩給扶助料に準コート

護近く實施す

賞金授與式舉行

交通調查部

門擔當

鐵道總局調查局

正待つ

人々

より認可値で販賣するやり戦 資なく断乎處嗣の方針でゐる會に集合せしめ、趙保安科長 の場合は暴利収締令を以て前兵後四時半より築者を商工公 とめることとなつたが、設見は捨ておけぬと販軍収締りに 重示差、さらに各署に命じこは捨ておけぬと販軍収締りに 重示差、さらに各署に命じこ 社業の對外宣傳新介 又鐵道研究所は新に鐵道技術 を置き從來擔當し來のた純然 たる鐵道技術方面の調査研究 たる鐵道技術方面の調査研究

るが、これに光立ち總局、監察、文書課、人事局各代表より成る起案者は十五日午後右に闘する打合せ會を開き原案について種々下審査を行ふことになつた 日を期し

棄權三三二

邪戀逃避行

スト

ップ

が去る十日絵郷したモ

お家の法度を犯す半島人男女 が戀の逃避行に四道街署が一 寸待つたと赤信號ー朝鮮成籤 北消隱城郡美浦浦豐江洞居住 農業趙京元(四一)の岩き妻 金玉附(二二)は年齢の相違

係では俄然活氣づき、徹底的するに至つたので、同署司法 にその本様を突き 押收したモヒと宮川から押收住半島人金率學(四九)から住半島人金率學(四九)から 初京音樂協會主事飲養事、前田電々放為

大級新京音樂協會主事等出席 ・ 大級新京音樂協會主事等出席 ・ 大陸賞の授典を行つたの ・ 特護を更に期待する旨の激調 ・ の際を述べ實、三浦南来賓の の際を述べ實、三浦南来賓の ・ の際を述べ實、三浦南来賓の

文化協會座談會 清穆無里氏の來京を機とし、 清穆無里氏の來京を機とし、 中四日午後四時半から青薬が かれで同氏を中心に日滿文化 一四日午後四時半から青薬が が 上にはなり、馬部貿易馬 の市内猛家

部に全治約 **再製司法保負が駈け** 対一週間の打撲傷を が一週間の打撲傷を 飛ばされいづれも頭 馬車

馬車四一〇七七九と 単夫李信林(二七) 単夫李信林(二七)

連轉手中村総合二人後十時四十分頃補司 客御難

によつて四道街場司法係で捜したの跡を追つて来た夫趙の訴を追つて来た夫趙の訴を追って来た夫趙の訴

大連か

6

0

特價

瑞西製提

時計計

通の近江洋行特選品揃ひ

町速渡市連大

と元の鞘に收めて郷里へ降らと元の鞘に収めて郷里へ降ら せるこ はと召喚、平岡司法主任より 意止め、棚の道行まかりなら

彼女の背後に 密造團 影

記念の御喜びの思ひ出に特におすすめいたしますきれんだよろこだるでとく

値段は總て運貨陽税弊店負擔の正味新京着値段でございます。

宗 賈容疑者市 は彼女の内線 を賣る婦人の取調進む 率天發展に備へ

市内目放の活

◎ 銃後の貯蓄は

背後にひそむ謎の扉は閉かれ ト く 持て餘した態で、依然 ト く 持て餘した態で、依然 年上の出所について観重追及 な大ものが潜んであると睨み がある監等から推定して彼女 がある監等から推定して彼女 がある監等から推定して彼女 がある監等がら推定して彼女 宮川は昨年 か設置

診療時間

ントゲン科

次回後取扱店

國都代理店

願ひます

是非一度御試食

を始めました

家 舍 田 横木井線町野吉 五二八六 ③ 電

時八後午―時九前午 診休後午日祭曜日 ず非にり限の此は思念

腔

外科

一般

幽

光線療法科

ルルモン

ヒの包紙が偶然にも一

駐スペイン満洲帝國公使館理 事官松村寛氏は十五日午後六 時五十分發列車で離京に決定 十四日午移挨拶に来社した、 氏は上京の上来月下旬頃赴任 の途に上る 西理事官

ビューロー ピューロー ピューロー ピューロー ピューロー ピューロー ミューロ 1 新京案 を扱和するために新たに左記 電話を増設した 1 新京案 1 カース 3) 五九八人(3) 五九

們嶺ス

瞬で参加團

體を募集

本學友岳劍平(當時二二)を ・ お教害した満洲風熱河省出身 ・ 古雨油(三二)にかふる殺人 事件の控訴審は、東京控訴院 垂水裁判長係で審理中のとこ る、十四日午後三時半前審通 ろ、十四日午後三時半前審通 △聚島高女音樂會於同校午後 一時 △長春寺淵繁會午後二時 △松村駐西公使館理軍官出發 午後六時五十分 か(十五日)

> = 三

りの 対 このは たひげも再び たひげも再び イに

七六

四、

なでつけてハリキッてゐる▼ 一旦そり落し たひげも再び たひげも再び

のろけ箱寄託 除側を開東軍へ献金 ・納入の手續をとつたが は直ちに関東軍へ恤兵金

新信交通部次長に野教夫、前次都交通部次長に野教夫、前次を平井川貞三阪氏は十四日更に大きる。







非常時局下 國策線に沿 ふて

品完に備 御用命を願上げた等しい再生タイプ 古タ ヤーの販賣を開始しましたとし を新品タ イヤヤ

マ本社特設一回燒タイヤー再生機
の特質 △
タイヤー の全身を一度に加熱しますから
流化温度が平均します

四回燒。の欠點である器目に剔點が絕體に生
さません
ロ回燒。の欠點である器目に剔點が絕體に生
さません
四回燒。の欠點である器目に剔點が絕體に生
でません
四回燒。の聚縮は砂袋を用ひるため、ゴムの
常着不充分なるも一回ģに於ては空氣緊縮ですか
ら内懸はダイヤーの全身に充分に且つ平均されます
いのでゴムの審着は勿論耐久力は增大します
型れや起したものを修理出来ます
イナーけ に要する時間は四回憶の四分の一で
オからそれだけ早く御手許に差上げられます 上げます

新京自動車株式會社新京特別市羽衣町二丁日二番地

再生タイヤー 電話③二九八九

○百六十三)

は上

を呼びとめた、彼の怪しげな町人のづいて第三の流が、最初神機 も の

岩殿。

紫の郷、お野は、

れてしまつた。四から死た者も東 まつて、疫もと見物ときめ込むよ 衛道の総容の足は、一時壁止めら

そかに長七郎岩の郷仁徳を恵ひ、 不過の御身の上に側同情を明上で 次してお続ひなく、 そなたは先へ。秦間は次



は数歩づつ からの不

彼の男は、関手で観を押って、

る所を、眺めてゐるより外は揺か だから、此ところ、暫らく休眠 武士は、お根のそばまで行くと、 「なぜ、勝手に通行する!」と外

しばらくはその武士の任

膝。 栗, 期か強いた。 印 助 4



印

後帳薄

一友社









七百感统 **於**页元 東亞藥園

白金·金銀高價買入 横濱屋質店 東二條通二十五條

前京きてい

東管支性(かとから 主治效能 帳音景明

トラック に依る トラック に依る 大和運輸公司 大和運輸公司 大和運輸公司 職2-OA五 日 画風 会日 報答を求めたき者 共に本合へ 大を求めたき者 共に本合へ 利土戦材料運搬 一野工務所 一野工務所 一般町五丁目六 一般町五丁目六 安服

タイプ印書 騰寫・代書 **建**海二三个

大幅町四丁目五一 心堂 コニカロへ

トラ

電(01) | 三六二 大成組自動車事 水道設備あり **公** 案要能 宋松接骨院 央通り

貸自

ラ修理

電話3二三九〇

ほれつざ

新京吉野町二丁山お茶園 お茶と

大連市西公園町一

快的明治一服作頓范回於一

はゆつざ

> れば忽ち明らか! カメログ進品

祭智胡同一〇一

時いし苦るれ切が息まれた今に

日本タイプ総合教授日本タイプ総合教育行政路(帝都キネマ前) 管別タイプライター 前別直置所 電2四四五二書 タイピスト難

案

治治泉料理 伽叟会は



全野瀬商店

白米奇響

芽

撫順、新京產

海專門

融即時・長期秘密

及法律顧問民事刑事

般

(御用の方は) 荻本電話店 新京入舟町一ノニニノニ

鍼灸 東二條涵安審前 吉光堂寮院

対象り御試選を公ふ 独建川二丁目十八番地 陽 節 炎、神 經 病 特効藥安心散 京 國産 シンも質質します

住 古 勝 也

すでれた性能は御試川下 小原整骨院 新写页11一八二 解析三丁目一八二 四月

北日本汽 (月三国) 十九日 十九

專屬荷扱所 大阪商船株式會社 大阪商船株式會社 李京本務所權33周9人九 李京本務所權33周9人九

●切符 設 賞 所 京機及関鍵主要各脚並各地 ジャパンツーリストピュー フィッカーリストピュー か月 | 「一個引、「近用期間三大連より添船往復物符は復

三角、鹿兒鳥那覇行 門司、 2 大阪商船出帜 九九九九月

貴州丸 二月八日 неввана в

多物大見切 豊質店 三笠町三丁目一 益



日本タイプライター株式會社



親 叮。

切。

亞 二。四二五二⑤電 建家家店營業種目 式作繕造

長岡 は建 ゼ具 T 00 信 長御 木工所 用 岡注 あ へ文 3 店

店門專作製品文注

法 律 電朝 話日 ③通二二八五 務 之 專 八番 西地古

辯 護 士師



簡単被 御用法 カネタ製麺麹工場 御用達 ラ



一級 医院 人员的设备的 ダイヤ街(永楽町) 支 四條